



## スマホ18の約束

校長 筒井 啓介

2012年のクリスマス。アメリカで、母親が13歳の息子にスマホを与えるときに交わした「18の約束」が話題になりました（原題は「Gregory's iPhone Contract」）。多くの親たちに支持された背景には、子どもにスマホを与えることへの不安の大きさがあると言えます。もはや、大人だけではなく子どもの世界でも欠かせない存在になりつつあるスマホ。この「18の約束」には親子でスマホと上手に付き合うヒントが詰まっています。大切なことは、「子どもを信頼すること」「子どもに信頼されること」。一方的ではなく一緒にルールを守っていくために、その全文を紹介します。

Dear Gregory

Merry Christmas! You are now the proud owner of an iPhone. Hot Damn! You are a good & responsible 13 years old boy and you deserve this gift. But with the acceptance of this present comes rules and regulations.

Please read through the following contract.

I hope that you understand it is my job to raise you into a well rounded, healthy young man that can function in the world and coexist with technology, not be ruled by it.

Failure to comply with the following list will result in termination of your iPhone ownership.

I love you madly & look forward to sharing several million text messages with you in the days to come.

親愛なるグレゴリーへ。

メリークリスマス！ついにあなたは誇り高き iPhone のオーナーです。やったね！あなたは良い子で、責任感ある 13 歳の男の子だからこの贈り物にふさわしい。でも、このプレゼントにはルールと規則があります。下に続く契約書を読んでください。テクノロジーに支配されることなく共存できるような、健康で、バランスの取れた若者に、あなたを成長させることが私の仕事だと理解して欲しい。

契約書のリストに従わない場合、iPhone の所有権を停止します。

私はあなたを心から愛しています。これから先、あなたと何百万通ものメッセージをやり取りすることを楽しみにしています。

## 「Gregory's iPhone Contract」

（スマホ18の約束）

- ① このスマートフォンは、母が買い与え、料金を払っているものです。あなたに貸しているスマートフォンです。
- ② パスワードは、親が管理します。常に報告してください。
- ③ 電話はマナーを守って礼儀正しく、父や母からの電話には必ず出るように。
- ④ 学校がある平日は夜7時半、週末は夜9時になったら、親にスマホを引き渡すこと。夜の間は電源を切り、また朝7時半に電源を入れます。固定電話で、電話すべきではない時間に、メッセージやメール、電話で話すことはいけません。お互いの家族のプライバシーを尊重しましょう。
- ⑤ 学校に持つて行ってはいけません。メッセージ、メールではなく直接対話しなさい。人の会話は大切なスキルです。
- ⑥ もし、水や地面に落として故障したり、なくしたりした時の修理や交換の費用はあなたが持ります。その費用は、自分で準備しなさい。
- ⑦ 人に対して嘘をつくこと、ばかにすること、あざむくことに使ってはいけません。たとえ誘われても、人のためになることを大切に考え、人を傷つけることは参加しません。
- ⑧ 面と向かって言えないことは、スマホを使い、メールなどで言わないこと。
- ⑨ 自分を見つめなさい。友達の親がいる前で言えないことは、メールでも言わないこと。
- ⑩ ネットでは私と共有できる情報を調べなさい。もし何か疑問がある場合は、誰か、できれば私がパパに聞くように。
- ⑪ あなたは礼儀正しい子です。それを崩さぬよう、公共の場では電源を切るか、音を切り、しまっておくこと。
- ⑫ 隠しておくべき自分のプライベートや、他人のプライベートの写真を送ったり、受け取ったりしないこと。あなたは賢い子ですが、そうするようにと誘惑されることがあるでしょう。こうした行為は、あなたのこれから的人生を台無しにする恐れがあります。巨大な力をもつネットワーク空間で、一度広まった悪い評判を消すことは困難だからです。
- ⑬ むやみやたらに写真やビデオを撮らないこと。あなたの経験は永遠にあなたの記憶に残るでしょう。
- ⑭ たまにはスマホやゲーム機を家において出かけましょう。携帯がなくても生きていけるようにしなさい。「みんながしていることを逃がすのではないか？」という恐れよりも強くなりなさい。
- ⑮ 様々な音楽と出会ってください。あなたの視野を広げてください。
- ⑯ ときどきは言葉のゲームやパズルや知能ゲームを解いて脳をきたえなさい。
- ⑰ 世界をあなたの目を通して見ましょう。検索する前に、考えることです。
- ⑱ あなたがミスを犯したなら、スマホを取り上げます。そして、最初から考え直していきましょう。問題はあなただけの問題ではなく、私達家族で答えを出していきましょう。

## ■仲間と共に学ぶ楽しさ～家庭科調理実習（1年生）～

1年生の家庭科で調理実習を行いました。献立は「豚肉の生姜焼き」と「味噌汁」です。班のメンバーで協力して、さつま芋（西谷中で栽培して収穫したもの）や小松菜・玉ねぎなどの野菜を切ったり、肉を炒めたりと、手際よく作業が進んでいきます。中には、手の上に豆腐を乗せて包丁で器用に切る生徒もいました。

2時間という限られた時間でしたが、予定よりも早く調理が終了し、三宅先生から「今までにこの献立をつくった生徒の中で、みなさんが一番手際よく調理できました」と褒めてもらい、みんな喜んでいました。（12月10日）



調味料の計量について説明を受けます



正確に計量します



昆布をカットします



ネギを細かくカットします



豚肉の生姜焼きをつくります



包丁使いのコツを見せてもらいます



玉ねぎと小松菜もカットします



野菜たっぷりの味噌汁をつくります



さつま芋をカットします（西谷中で育てたさつま芋）



みんなで美味しいと笑顔になります



美味しいと笑顔になります